



米國國稅寮并各稅區官員事務章程

3392





114  
A2317

國稅憲並各稅區官員事務章程

大  
歲  
首





谷粟  
國稅寮職制

大正十一年四月  
限侯爵贈

米國稅寮

國稅頭	一員	歲俸	六千元
第一國稅權頭	同	同	三千五百元
第二國稅權頭	同	同	三千元
第三國稅權頭	同	同	同
國稅法審司	同	同	五千元
第四等書記	三十一員	同	各千八百元
第三等書記	四十八員	同	各千六百元
第二等書記	五十員	同	各千四百元

大藏省



第一等書記	二十四員	歲俸	各千二百元
書寫女生	九十五員	同	各九百元
使丁	七人	同	各八百四十元
同補員	三人	同	各七百二十元
雜役	十五人	同	各七百二十元

國稅寮中分課及規則ノ寮中限刊行スル所  
布告言ヨリ詳ス

次ニ載スル所ノ改正分課及規則ハ寮中ニ勤仕  
スル者ノ管轄ノ爲ニ刊布セシムルモノナリ  
一千八百七十一年第一月一日 國稅寮  
今ヨリ以後寮中職員ノ課ハ之ヲ五分ニ其中又  
數科ニ分ツテ左ノ如ク

第一法律課

課長國稅法審司「チエ」  
副課長「アーム」  
トロン



此課ニ於テハ一科納稅者ノ杆曲、物品、沒收其  
他一切國稅法ニ就キテ支ル所ノ訴訟ヲ審察シ  
一切特稅、印紙稅、年得稅、遺產稅、繼嗣稅及得々分  
金稅等ニ関セシ事件、減稅、還稅ノ討求、沒收時限  
ノ定期、沒收スル所ノ公賣土地、對烟、興烟、糸烟等  
ノ保稅庫ニ在ル者C表中ニ載スル醫藥、製劑、制  
造者賣賣稅及直稅等ノ事ニ就キテノ訴訟ヲ審  
察スルヲ管ス今又分テ四課トス

第一科長

納稅者ノ杆曲、物品沒收及訴訟等ノ事ヲ司ル

第二科長

「レニ、チーワイシソ」

特稅、印紙稅、C表中ニ載スルモ歲得稅、  
廢受產、繼嗣ノ稅、此兩稅又今得々分配稅其他  
減稅、還稅未進稅、爲ニ政府ニ買上ケタル土  
地及家屋並ニ未進稅ノ償トシテ家地ヲ沒取  
スル定期ノ事等ヲ司ル

此第二科方今致テ三科トナシ還稅ノ事ハ  
「レニ、チーワイシソ」稅ノ事ハ「レニ、チーワイシソ」其  
他ノ雜件ハ「レニ、チーワイシソ」之ヲ司ルトナレリ

第三科長

「レニ、チーワイシソ」

大藏省



對烟、雙烟、糸烟、訴訟ニ關ラサル者或ハ保稅  
庫中ニ入ラサル者稅中ノ諸藥品制劑ニ屬  
スル事件及諸製造、賣得稅等ヲ司ル

第四科長

「エル、エス、イ、メ、リ、ー、レ」

一切直稅ノ事ヲ司ル 直稅ノ事  
下ニ詳ナリ

第二文信及統計課

課長 第一國稅權頭

此課ニ於テハ、寮中一切文信ノ事其文書ノ番號、  
年月、庶書等ヲ記載スルヲ其全文ヲ寫スヲ及其  
文書ヲ貯フルヲ一凡ノ綴込ヲ作ルヲ統計ヲ作

ルヲ其他寮中使丁、雜役、諸新ニ簿冊、作リ、刊行  
ヲ作シ、新聞、載セテ、布告スルヲ及寮用ノ爲ニ  
スル諸空白、様紙等ヲ作ルヲ、管ス、今分ツテ、四  
科トス

第一科長

「シ、エ、ヒ、ー、テ、イ、ロ、レ」

統計表ヲ作ルヲ司ル

第二科長

「シ、ダ、ブ、レ、エ、ー、エ、ル、ト、リ、ツ、チ」

一切文書ノ番號、要、簿冊ニ記載スルヲ一  
凡ノ綴込ヲ作ルヲ、刊行ヲ、新ニ簿冊ヲ作  
ルヲ、新聞ニ載セ、布告スルヲ、田文、特令、狀、諸、規



則、空白様紙等ヲ造リ司ル

第三科長

ミツス、ゼテ、ユイ、ヒ、イ

一切文書ヲ書寫スヲ司ル

第四科長

「ジ、シ、カ、ル、ビ、ル」

寮中使丁、雜役及ヒ簿冊、筆墨紙等ヲ給スルヲ司ル

第五會計課

課長 第二國稅權頭、副課長「レ、エ、エ、フ、

ジ、ヨ、セ、フ」

此課ニ於テハ一切税金、寮中有金、諸收稅官及印

紙取稅役

印紙ヲ印刷シ及ヨリ出ス所ノ會計簿

ヲ作ルヲ官全拂方ノ役ヲ兼ル收稅官ヨリ出ス

所ノ出入金高帳ヲ検査スルヲ減稅、還稅、還保庫

稅ノ請求ヲ除クタ一切國稅法ヲ施行スルカニ

ニ定マリタル金額ヲ此寮ニ請求スル者ヲ検査

スルヲ及定用入費ヲ預算スルヲ管ス但此課

ニハ分科ナシ

第四屬保稅證燒及高貨課

課長 第三權頭、副課長「エ、エ、ホ、ー、レ、ス」

此課ニ於テハ燒酒、泡酒、飲料、葡萄酒、精酒、保稅庫



保稅庫中ニ在ル高貨庫金返還量酒役々料及  
量酒器守庫役々職等ノ事ヲ掌スルヲ管ス此課  
又分テニ科トス

第一科長

「エーエム、カノ、トス」

一切量酒ノ事量酒役々料及量酒器等ノ事ヲ  
司ル

第二科長

「レ、エ、ベイツ」

一切守庫役ヨリ達スル輸出及國內賣捌酒精  
類ノ保稅庫ニ出入スル者ノ届書及帳面守庫  
役分職等ノ事ヲ司リ且保稅庫中ニ在ル物品

及其島ノ算計簿ヲ貯フルヲ司ル

第五印紙課

課長 「グブレユー、ビー、シエ、ルマ」 副課長 「チア

・マン

此課ハ一切印紙ノ製造ヲ監シ之ヲ保藏シ之ヲ  
發出スルヲ司ル

但此課ニハ分科ナシ

特異職分

「グブレユー、ボー、ア、カ、エ、リ」ハ專ラ國稅監察國稅巡視  
稅官任命ノ記載委任狀及寮中官負請暇等ノ事



ヲ主宰スヘシ  
諸課ノ長ニハ國稅頭ヨリ各其下官ノ勤怠及其  
者等ノ閑ル所ノ記録、其他事務ヲ孟浪杜撰ノ事  
ナク且迅速ニ取扱ハシムルノ責ヲ負ハシムヘ  
シ  
諸分科ノ長若シ分科ナキハ其課長ハ其下官ノ參察ノ遲  
速其出察時限中命ニ從テ務ヲ爲スヤ且其務ヲ  
正直ニシテ充分ニ取扱フヤヲ監スヘシ  
大藏卿ノ定ムル所ノ就職時限ハハス常ニ注意  
スヘシ

凡ソ一切請暇ノ願ハ各其科長ニ出シ科長之ヲ  
課長ニ傳ヘ課長ヨリ國稅頭ノ許可ヲ受ベシ  
但暫時其席ヲ離ルハ課長ノ許可ヲ受ベシ  
就職時限ニ先後シテ入寮スルヲ願フ者ハ課  
長ノ手ヲ經テ第一租稅權頭ノ許可ヲ受ベシ  
凡ソ本寮ニ引受タル事務電線ニテ報セラレタ  
ル事務及其未タ爲レ終ラサル事務ニ付一切本  
省ノ規則ニヨリテ爲ヘキ所ノ書上ハ其寮中  
諸課ノ書記各怠慢ナク之ヲ主科長ノ許可ニ出シ  
科長ハ之ヲ檢査シ其時旨ヲ抄書ニ表ニ作リテ



之ヲ課長ノ許ニ出スル課長ハ各其分科ノ書  
上ヲ一纏ニシ總表ヲ作りテ表ト共ニ第一權  
頭ノ許ニ出スベシ  
諸課長ハ其下書記ノ員數ノ有餘不足等アルト  
キハ之ヲ頭ニ達スベシ  
一切ノ書記等其被官ノ領知ナケレバ人ト許ヲ  
爲シ公事ヲ取扱ヒ或ハ此寮ニ關スル事務ヲ冰  
人ニ告知シムルヲ得ベカラズ  
一切世間ニ公行スルノ目的ヲ以テ作ル所ノ此  
寮中ノ事ヲ知ラシムルノ書ハ先之ヲ頭ニ示シ

頭之ヲ許ニテ然後公行スルヲ得ベシ若シ此則  
ニ違フ者ハ頭ノ許ニ告ケ其處分ヲ俟ツベシ  
一切本寮ニ對シ討金ノ許ヲ起ス者ノ爲ニ備ハ  
レタル法律家ハ頭第一權頭及諸課長ノ其事務  
ニ關スル者或ハ其副長等ノ各別ノ許ナキトキ  
ハ寮中書記及雜役等ニ至ルヲテ之ト相交通ス  
ルヲ得ヘカラズ  
一切寮中ニ用ナル所ノ雜使等ハ行儀其分ヲ超  
ユヘカラズ否ヲサレハ之ヲ頭ニ告ケ其處分ヲ  
俟ツベシ



一切寮中諸官ノ許ニ來ル所ノ文書ハ是急下ク  
直ニ之ヲ分配スヘシ且其賦者ハ每朝第凡時  
必ス其出席ノ事ヲ届クベシ  
頭ニ向テ來ル所ノ電信ハ直ニ頭ノ手ニ渡スベ  
シ  
凡ソ外來ノ文書ノ回答ヲ作ルヲ命セラレタ  
ル書記之ヲ急リ作ラサルヲ五日ニ越レハ之  
課長ニ告クヘシ此規則ハ課長、科長其下官ヲシ  
テ嚴守セシムベシ  
凡ソ上下議院、諸省、諸局ヨリ起ル所ノ文書ハ速

ニ回答ヲ作ルヘシ且此事ハ頭特ニ注意スベシ  
一切書上、申譯等ノ書ヲ請求スルニハ特ニ注意  
スベシ是已ニ受取リタルモノヲ再ヒ請求セサ  
ラシカ爲メナリ  
一切收税ヲ廢スルノ令ハ會計課ニ傳ヘ同課ニ  
テ遺漏ナク記載セシムベシ  
凡ソ文書ヲ作ルノ書記ハ其名ノ頭字ヲ其作ル  
處ノ書ノ下方左角ニ書シ科長ハ之ヲ上方左角  
ニ署シ課長ハ之ヲ上方右角ニ署スベシ  
凡ソ一切ノ文書新則ヲ採用スル事ニ関スルモ



ノ新法ノ制立ヲ布告スルモノ。或ハ其他法ニヨ  
リテ國稅頭ノ指揮ヲ經ヘキモノ、外ハ第一國  
稅權頭ニ調印スベシ。而メ此例外ノ文書即新  
法新則等ヲ立ルコトニ關ル者ハ先之ヲ國稅法審  
司ノ閱ニ供シ而後其書ノ趣意ヲ略解スル所ノ  
短文ヲ之ニ副フベシ。

一切更文ノ發議ノ記書、布令、規則書等尙後此條ニ  
リテ公布スルモノハ之ヲ刊撮師ニ送ル。前、先國稅  
法審司或ハ其副役ノ許ニ致シ之ヲ檢閲セシメ  
且初メ其文ヲ屬セル人及本寮刊撮師ノ書記

之ヲ一讀スルノ後其試撮及校正試撮トモ再ヒ  
審司ノ許ニ送リ審司或ハ其副役時宜ニヨリ之  
ヲ改削スベシ。又本寮刊撮師ノ書記ハ右校正ノ  
後最初ノ本撮ヲ丁寧ニ檢查シ其後再ヒ數部刊  
撮ノ後モ尚之ヲ檢讀スベシ。是其布達ノ前務ニ  
誤謬ヲ防クニアルナリ。  
前文ノ課長トイヘル文字ハ分課ノ長官ヲ指ス  
ト知ルヘシ。  
諸本寮ニ勤仕スル者皆本省ノ規則ニ從ヒ嚴ニ  
之ヲ守ラシムベシ。



右諸條中ニ逐一載セサル所ノ細目ハ諸課長之  
ヲ心得下官ヲシテ之ヲ守ラシムベシ

國稅頭

國稅頭職務

國稅頭ノ官ハ一千八百六十二年初テ之ヲ  
置ク

國稅頭ハ上院ノ協議ヲ經テ大統領之ヲ任ス其  
管掌スル所ノ任重ク且大ナリ一切大藏省ノ統  
轄ニ從テ之ヲ為ス其國法書中ニ載スル所ノ主  
務左ノ如シ

一大藏卿ノ指令ヲ受テ一切論文規則指令空白  
様紙稅印紙渡世免許狀ヲ作り且之ヲ發出ス  
ルナリ諸租稅印紙稅渡世免許稅ヲ賦課收集



スルヲ及之ニ附キテノ課金ニ関スル等ノ事  
務ヲ監督スルナリ

一 綿印、測水器酒類ノ強弱ヲ測ル器 充全ナレ糊貼印紙、印

税ノ高ヲ鑄記セル印等ヲ備給シ且之ヲ更正

スルナリ

一 一切請金票ノ様紙、交議ノ記載及規則書等政

府ノ印刻所ニ於テ之ヲ刊撮セサルトキハ約

ヲ以テ他人ニ託シテ之ヲ作ラシムルナリ又

一切緊要ナル布告ヲ刊行者ニ託シテ刊布セ

シハルナリ

一日々入ル所ノ公金ヲ出納頭ノ許ニ致シ毎月

末ニ出入ノ會計簿ヲ請取書ヲ添ヘテ第五正

算役ニ輸スナリ正算役之ヲ檢算シテ第一檢  
査頭ニ致シ其指揮ヲ待ツ

一 一切課税官、収税官等ヨリ各其職務ニ付伺出

ル所ノ疑件ヲ交裁シ若シ之ヲ要セラルト

キハ其已交ノ條件ヲ再案スルナリ

凡ソ此官人ノ職務ハ最貴重ニシテ極メテ煩

密其故ハ本寮ノ百事其形ハ大藏卿ノ指揮ヲ

俟ツ如シト雖モ卿其他百務ヲ擔當スルヲ以

テ専ラ此事務ニ注意スルヲ得ス是ヲ以テ其



事務取扱ニ於テ偏ニ其責ニ任セサルベカラ  
ス且其人ヲ撰テ此職ニ居クテ政黨派ノ人ヲ  
以スルノヲ罷ムニ非レハ國稅ノ法ヲ施行ス  
ルニ於テ百船ノ難件到来シ政府民ノ信ヲ失  
フヲ多カルヘク且毎歲其法ノ變革スルヲ定  
マリナキヲ以テ民已ニ其法ヲ立ル者ヲ信セ  
サルニ至ル因テ後來此法能ク確定シ民ノ心  
ニ満足セシムルニ至ルマテハ此法ヲ施行ス  
ルニ大至難事ニシテ其任ヲ負フ所ノ人其務  
尤難シトス

租稅權頭職掌

租稅權頭三員アリ第一權頭ハ上院ノ協議ニ從  
ヒ大統領之ヲ命ス其務ハ大藏卿ノ指畫スル所  
ト國法ニヨリテ要セラルル所ノ事ヲ擔當スレ  
テ頭不在ノ節ハ之ニ代リテ其事務ヲ擔當ス  
ルナリ  
第二三ノ權頭ハ大藏卿ノ協同ヲ得テ國稅頭之  
ヲ命ス其務ハ所ハ專ラ頭ノ命ニ從テ之ヲ就  
スナリ



國稅法審司職掌

國稅審司ハ司法卿之ヲ撰ニ上院ノ協議ヲ經テ  
大統領之ヲ命ス此官初メ大藏省ノ一員ナリシ  
カ近年司法省ノ所屬トナレシ其務ハ國法別ニ  
之ヲ定ムル所ナシト雖モ常ニ國稅法ニ就テ起  
ル所ノ爭訟ヲ考按シ其所業ヲ陳シテ以テ國稅  
頭ヲ副クヘシトス故ニ其才學ニ長シ實際ニ熟  
シ且其性信實ニシテ務ニ倦マサル者ニ非レハ  
克ハス若シ理財ノ上ヨリ言フトキハ諸政府ニ  
用フル法律者ノ中此官ヨリ重要ナル者ナシ

但此局ハ司法省ニ屬スト雖モ常ニ大藏省中  
ニ設ケ有ルヲ以テ恰モ省中ノ一局ノ如シ



察外國稅官職制 并 事務章程

一 監國稅法官

シニア、バ、ロイナル、オス  
インテリナル、レウエニエー

廿五員

歳俸各三千元

大統領其人ヲ撰ミ上院  
ト相同ヲ經テ之ヲ任ス

但他一切收稅法官監スルニ付  
テノ費用政府之ヲ給ス

一 課稅官

アムセソリルオフ、インテリナル、  
レウエニエー

二百三十一員

同 同 一千五百元

其撰任監國稅  
法官ニ同シ

但役得テリ後  
詳ニスヘシ

一 收稅官

コレクトル、オフ、インテリナル、  
レウエニエー

二百三十一員

同 同

其撰任課稅  
官ニ同シ

但役得アリ後  
詳ニスヘシ

一 視察役

ヂテクニーフ

廿五員

給料後日詳ニスヘシ

國稅頭ヨリ其人ヲ  
撰シテ之ヲ任

一 烟草検査役

インスペクタール、  
オフ、レウエニエー

其員無定

給料後日詳ニスヘシ



一 守庫役

イニテレル、レウエニ、  
ストール、キール、  
取税官其人ヲ撰ニ國税頭  
再撰シ大藏卿之ヲ任ス

其員無定

給料後日詳ニス

一 量酒役

インテルナル、レウエニ、  
グレイシル、  
共撰仕守庫  
役ニ同シ

其員無定 同上

右ノ外公金受拂役

ヂ、  
エゼント

印紙賣扱役

エスタ  
エゼント

輸出物監督役

シエ  
オフエキ  
ホルテイ  
エニ

如キ或ハ課收税

官之ヲ兼任スルヲ出張出納權頭之ヲ擔當

スルアリ或ハ臨時ニ人ヲ撰ミテ任スルアリ

其員ニモ素ヨリ定マリナケレハ別ニ掲ケス

監國稅法官職掌

此官ハ、大統領其人ヲ撰ミ、上院ノ悞同ヲ經テ、之

ヲ任ス、而シテ其人ヲ各地ニ配當スルハ、國稅頭ノ

勸ヲ以テ、大藏卿之ヲ指揮ス、其職掌ハ國稅頭ノ

指令ニ從ヒ、國稅ヲ收集スルノ方法、能ク法ニ叶

フヤヲ觀スルナリ、收稅ニ付テ起ル所ノ奸詐ヲ

防キ、之ヲ察出シ、且其者ヲ罰スルニ力ヲ副フル

ナリ、諸寮外稅官ノ勤怠行狀等ヲ監スルナリ、

右ノ本務ヲ執行スルカ爲ニ、此官人ハ一切納稅

者ノ有スル所ノ簿冊、會計簿、諸證紙、並其人物、家



室、屋隅等ヲモ検査シ、其人ヲシテ誓詞ヲ立テシ  
、及ヒ其有スル所ノ簿冊ヲ檢スルカ爲ニ、其人  
ヲ召出スノ權アリ、

又察外稅官ノ務ヲ怠リ、法ヲ犯シ、身其任ニ勝ヘ  
ス、或ハ行状宜シカラサル者アレハ、必ス之ヲ國  
稅頭ニ書申スルヲ務トス、尤モ此時ニ方リテハ、  
必ス其事實ヲ證スルノ條件ヲ探索シ、且其書中  
ニ記載セサルヘケラス

又此官人ハ、所轄部中ノ烟草検査役、守庫役、量酒  
役、半、此製造處ヨリ彼製造處ニ移シ、此區ヨリ

彼區ニ移スヲ得ヘク、且書ヲ送リテ右諸役員ノ  
務ヲ差止ムルノ權アリ、尤之ヲ差止ムルハ直  
ニ其地方ノ収稅官及國稅頭ニ之ヲ達シ、其後三  
日ノ間ニ國稅頭ノ許ニ其之ヲ差止メタル所以  
ノ理ヲ委細ニ書シテ申達スヘシトス

視察役 此官人ノ職掌稅法書ニ詳ナラス  
今實地見聞スル所ヲ以テ補フ

此官人ハ國稅頭其人物ヲ撰ミ之ヲ命ス一時ニ  
二十五員ニ過クヘカラス凡ソ此職ニ任スル者  
ハ一切ノ民業ヲ通知シ法律ニ明ナラサルベカ  
ラス、平生監國稅法官ノ下ニアリテ納稅者ノ奸



詐ヲ視察スルヲ務トス故ニ時トシテハ打扮シ  
テ旅客ト成リ商人ニ擬シ或ハ旅館劇場展覧場  
酒店博奕場等ニ入り以テ民間ノ景況ヲ探索シ  
或ハ巴ムナキニ至テハ納稅者ノ奸曲ヲ檢出ス  
ルカ爲ニ之ト隙アル者ニ託シテ之ヲ探偵報告  
セシムルヲアリ又國稅頭監國稅法官ノ内命ヲ  
受ケ各地ニ往來スルアリ又常ニ烟葉筒烟等ノ  
賣上帳賣酒家ノ賣上帳等ヲ點見スルナリ且納  
稅者奸ヲ爲ス者アレハ收稅官ニ代リテ其者ノ  
財產ヲ取押ヘルヲ得而メ平生國稅頭ノ命スル

ニ非レハ其配量セラル、所ノ部ヲ去リテ他  
行ク克ハス

課稅官職掌

課稅官ハ上院ノ候議ヲ經テ大統領ヨリ任スル  
所ナリ其數各一人ノ議員ヲ出ス所ノ部中ニ一  
名各縣ニ一名此縣トハ人口未滿ニシテ未クコ  
州ヲ爲スニ足ラサル者ヲ指  
コロムピア邑ニ一名ヲ置ク此官ノ便宜ニ從ヒ其  
持場ノ大區ヲ數小區ニ分チ小區毎ニ其副官各  
一名ヲ任シ置クヲ得  
凡ツ右副官等ト國稅頭ト其事務ニ就キテノ通



信必ス此官ノ手ヲ経サレテ得ス故ニ國稅案ヨ  
リ指令ノ事アレハ此官先之ヲ受ケ而後其副官  
ニ達シ又此官ヲ経テ副官等之ヲ本寮ニ達ス副  
官ヨリ致ス所ノ各其受持ノ區ノ書上モ先此官  
ニ達シ而後此官之ヲ本寮ニ致ス  
凡ソ各副官ハ其受持ノ區ヲ巡回シ一切ノ歲得  
製造物及ヒ渡世免許ニ課スル所ノ稅額ヲ算定  
シ之ヲ課稅官ニ致シ課稅官再ヒ之ヲ收稅官ニ  
致ス故ニ各副官ハ一切稅ヲ課スヘキ事物及納  
稅者ヨリ副官ニ其事物ヲ書上ル所ノ法式ヲ詳

ニ示セル空白樣紙ヲ有ス而シテ此樣紙ニ納稅者  
其事物ニ課セラルルノ稅額ヲ登載シ誓ヲ立テ  
詐ナキヲ徴スルノ後副官之ヲ受ケテ本官ニ  
送シ本官ハ其寫ヲ作ラシメ之ヲ國稅頭ニ致ス  
蓋シ此官ノ事ノ職務ハ屢困難ヲ免レズ其是ヨ  
リ往々難波ノ疑獄ヲ生スレハナリ而シテ此疑獄  
ニ付テハ屢國稅頭ノ裁決ヲ要スルコトナリ殊ニ  
納稅者強テ服セサル者アレハ審廳ニ列シテ分  
解ヲ為スヲ得サルヲ以テ往々民ノ苦ヲ訴ル所  
トナレ



凡ソ課税區ヨリ收ムル所ノ税額ノ多少一々此  
官課賦ノ得失ニ係ルヲ以テ此官人等ノ務ハ最  
重シトス故ニ其人ハ怜悯ニシテ事情ニ盡シ強  
迫事ヲ執ル者ニ非レハ之ヲ能ルル克ハス

收税官職掌

收税官ハ其撰任セラルルノ式課税官ニ同シ而  
シテ此官亦課税官ノ如ク其副官ト國税頭トノ間  
ニ立ツ所ノ要益ナリ  
凡ソ此官人ハ課税官ヨリ課定ムル所ノ書付ヲ  
受取ル之ヲ副官ニ傳ヘ副官之ヲ民ヨリ收取而

其金ハ本官之ヲ受テ集メテ國税頭ノ指令ス  
ル所ノ處ニ託ス

蓋シ此官ニ居ル人ハ素ヨリ最モ廣直ニシテ且  
其姓精密ナルヲ要スト雖其務ニ至テハ課税官  
ノ如ク精密困難ナラス其故ハ乙官ハ收メキ  
税額ヲ勘算課當セサルヲ得テ甲官ハ其課スル  
所ニヨリテ之ヲ収ムルノミナレハナリ但常ニ  
公金出入ニ付專ラ其責ニ任セサルヘカラサル  
ヲ以テ廣直精密ヲ其人物ノ保證トナサザルヲ  
得ス



烟草検査役職掌

此官人ハ。監稅港官之ヲ撰ニ國稅頭ノ協同ヲ經  
テ大藏卿之ヲ命ス各收稅區中便宜ニ從ヒ一人  
或ハ二人ヲ置ク此官人ハ常ニ烟草製造處ニ到  
リ製造家簿冊ニ載スル所ノ烟草ノ種類及員數  
量目箱數等能ク其品目ニ合フヤ内國賣消輸出  
ノ烟草等其保稅庫ニ入ル者及之ヨリ出ス者  
業正當ニ即紙ヲ貼スルヤ等ノ事ヲ検査ス

守庫役職掌

此官人ハ收稅官其部中ノ人ヲ撰ニ之ヲ國稅頭

ニ申進スレハ國稅頭前々第四課長ニ通シ其人  
物ヲ検査セシメ之ヲ大藏卿ニ勸メ然後卿之ヲ  
命ス其人員及ヒ給料ハ國稅頭ノ定ムル所ニ依  
ル但し其給料ハ多キモ一日五元ニ過クヘカラス  
トマ其職掌ハ其被轄ノ收稅官ノ令スル所ニ從  
ヒ製造酒家ニ到リ其庫ヲ預リ常ニ其鎖命ヲ持シ  
他人ヲシテ漫ニ之ヲ開カシメス且自身立合ノ  
上ニテラテハ何物クモ其中ニ出納セシメス  
一切其預リ庫中ニ出納スル所ノ酒類ノ性合分  
量其製造人其出納ノ月日其樽箱類ノ番號記標



其他之ヲ量測スル所ノ人名等ヲ記シ若シ酒精類ナレバ其量器ノ番号及準量下ニ詳也等ヲテ委細ニ記セル簿冊ヲ所持シ何時ニテモ他税官ノ間ニ供スヘク且其庫中ヨリ酒類ヲ出ストキハ其之ヲ出ス前ニ前々如ク酒ノ種類樽ノ番號記標分・量製造人ノ名等ヲ記シ又其之ヲ渡ス所ノ人名及收税官ヨリ出ス所ノ免状ニ引合セ何ノ為ニ之ヲ渡ストイワラマテ委細ニ同簿中ニ記載シ置ヘク日々其前日庫中ニ出納スル所ノ物品ヲ記載セル書付ニ枚ヲ作り一々之ヲ被轄ノ被

税官ニ致シ一々郵便ヲ以テ之ニ國税頭ノ許ニ致スヘク毎月初月曜日ニ前月ノ初庫中ニ遺ル所其後引渡ス所及其月末ニ遺ル所ノ酒類ノ番號記標其他前件ノ如ク一切記載セル書付ニ枚ヲ作り一々之ヲ其收税區ノ課税官ニ致シ一々被轄ノ收税官ニ致シ一々之ヲ國税頭ノ許ニ致スヘク凡ソ各守庫役ハ其區ノ監稅法官或ハ國税頭ノ命ニヨリテ一庫ヨリ他庫ニ移サルヘク其疾病事故アリテ職ヲ務ムルトキハ其所



轄ノ收税官 人ヲ命シテ一時之ニ代ラシムハ

量酒役職掌

此官人ノ撰任亦守庫役ニ同シ其職務ハ其被轄  
ノ收税官或ハ輸出物即チ烟草酒類ヲイフノ記載ヲ司ル  
收税官ノ監督指令ニ従テ之ヲ致ス且常ニ強力  
ノ酒ヲ造ル家ニ到リ其酒ノ漉過蒸餾スル器具  
及室ノ鎖鑰ヲ預リ其漉過蒸餾スル毎ニ造酒者  
ト相會シ蓋テ以テ其強弱ノ量リ然後之ヲ樽詰  
ニカサシム或ハ其前以テ量ラサルモノハ即チ他製造家

家ヨリ其受持ノ製造家ニ來ル者其心ヲ賣出ス井之カ強弱ヲ量  
ル尤モ庫ヨリ出シテ他人ニ賣渡ス井ハ造酒家  
其立會ヲ乞ヒ其樽ノ入目ヲ量リ然後之ヲ賣渡  
ストヲ得ルナリ斯クテ量酒役ハ其簿冊ニ右檢  
量セル酒ノ種類分量樽ノ番號記標及之ヲ賣渡  
セル人名月日等ヲ記載シ且其馬ニ枚ヲ作リ一  
ハ其區ヲ課税官一ハ其被轄ノ收税官ノ許ニ致  
スナリ其役料ハ造酒家ヨリ拂フ紐育ニテハ大  
小ニ拘ラズ一樽ニ付五十占ノ手数料ヲ役料ト  
ス但シ多量ニ作ル家ニテハ一樽ニ十占ノ所モ



一切國稅頭ヨリ定ムル所ノ分限ヨリ多ク  
受レテ得ズ

輸出物監督役

凡ソ一港ノ中ニシテ二人ノ收稅官アルハ大  
藏卿必ズ其一員ヲシテ添テ其ノ國稅ヲ課ス  
ヘキ物品輸出ニ就キテノ諸事ヲ監督セシム  
若シ御之ヲ置クヲ要用ト考フルトキハ其港ニ  
更ニ監督役ヲ命ジ置ク其給料ハ一歳二千元ニ  
過クヘカラス但紐育港ノ事務繁多ナルヲ以テ  
一歳三千元トス

公金受拂役

此役ハ收稅官大藏卿ノ命ヲ受テ之ヲ擔當ス  
其收稅部中課收稅官及其副官等ノ給料役所入  
用事受取ル所ノ税金ノ内ヨリ任拂ヲ為スナリ  
凡ソ此役ヲ兼帶スル收稅官ハ尋常收稅官ヨリ  
其任重キヲ以テ其本官ニ就キテ納ムル所ノ保  
償證書ノ外ニ檢査頭之ヲ可否シ大藏卿ノ命ス  
ル所ノ金高程ノ保償證書ヲ納メサレテ得ズ尤  
其給料ハ之ヲ爲ニ増スナリ

印紙賣捌役

大藏省



凡ソ國稅印紙ヲ預リ賣捌ク者ハ出張出納權頭  
公金預處課收稅官郵便出張所頭取等ナリ又  
テリ、ボブリット云フ遺產及田宅讓渡等ノ證  
書ヲ記スル法律者等之ヲ預リ賣捌クアリ但烟  
草<sup>カ</sup>イスキ<sup>ル</sup>來酒燒酒等ニ貼スルノ印紙ハ收  
稅官ノ外之ヲ賣捌クヲ得ス凡印紙ヲ賣捌ク者  
ハ初メニ政府ニ其代料ヲ納メテ賣拂ノ後之ヲ  
納シ其得分ハ賣上高ノ五分ヨリ取カレヘカラ  
ス且皆其預高程ノ保額證書ヲ大藏ノ出納頭ノ  
許ニ品シ出納頭之ニ調印シ之ヲ檢査頭ノ許ニ

出シ檢査頭之ヲ預ル尤モ之ヲ預ル者ハ大抵  
ケ月其地方ニテ賣捌<sup>高</sup>見込<sup>立</sup>立テ國稅頭  
申立其高程ヲ預ルナリ又身代堅固<sup>印</sup>シテ正直  
ナル人物ニテ請合<sup>立</sup>立テ證券印紙等ヲ製造セ  
シメ直ニ右課收稅官ノ手引渡サシムルモア  
リ尤稅官其製造所ニ日々出會檢査スルナリ余  
<sup>フ</sup>ヒテ其<sup>出</sup>出<sup>所</sup>所ニ於テ其製造所ヲ見タリ是大高  
ノ請合製造セル者ナリ紐育府ニ於テハ<sup>ハ</sup>コンチ  
子<sup>ニ</sup>ニ<sup>ハ</sup>ハ<sup>ソ</sup>ノ<sup>ハ</sup>會社等ハ兩三年前マテ此  
事ヲ請合タ<sup>ト</sup>云フ是余カ相識其事ニ關ル人



イシ氏カ話ナリ

附紐有ニ於ニハ別ニスタンプレ製造所アリ此

スタンプハ咬烟ヲ被ワ所ノ鉛葉ナリ紙ニ非

ス其製造所ニハ二人ノスタンプエゼント

印取扱人ト譯スベシ尋常印紙賣捌人ト原語

ハ同シケレトモ所務異ナレハ假ニ其譯名ヲ

分テアテ之ヲ監ス凡ソ此所ニテ製スル鉛葉ニ

ハ國稅寮ヨリ令スル所ノ形ニ從ヒ稅印ト共

ニ其家ノ名號ヲ壓器ヲ以テ之ニ印シ其上ニ

真鍮箔ヲ塗ル凡ソ此烟ハ皆此鉛葉ヲ以テ被

ハサレ得ス是政府ヨリ此會社ニ與テ特

許ナリ扱右鉛葉ヲ得ントヲ欲スル者ハ前以

テ何程ヲ要スルトナラフヲ右エゼントノ許

ニ申來レハエゼント之ヲ簿冊ニ記載シ之ヲ

會社ニ達シ會社其意ヲ得テ其談高ヲ作ル斯

クテ此エゼント及會社ヨリ日々ノ賣上高ヲ

記載シ又月々ノ高ヲモ記載シテ大藏ノ租稅

寮ニ達スルナリ而テ此エゼントハ日々製造

場ヲ見廻リ會社製造高及造リ損シノ高ヲモ

記載シ是ヲ租稅寮ニ達スルナリ又鉛葉製造

ノ器械ニハ日々鎖ヲ下シ朝之ヲ開キテ夜之

九  
癸  
管

六  
歲  
首



ヲ開ツ又之ニ印スル印「モエセン」ト之ヲ預リ  
 置クナ。凡此「エセン」トハ國稅頭ヨリ直ニ任  
 スル所ニシテ更ニ收課稅官ニハ關係ナシト  
 イフ此事國稅法書中ニ迭マルヲ以テ之ヲ記  
 ス

收課稅部分置事  
 凡ソ合衆國ハ其國稅ノ課收スルカ爲ニ全國ヲ  
 分ケテ千百世一トシ之ヲ租稅部レカニユリ又收  
 稅部コレクシユン又課稅部アスセヌント  
 ノ。法下院ニ會スル議員一名ヲ出ス程ノ地ヲ一  
 部ト爲スナリ故ニ方今合衆國總人口ニ比算ス  
 レハ村市邑落ヲ合シテ大抵二十万ノ人口アル  
 所ヲ一部ト爲スニ當ル因テ一州中一部ヲ置ク  
 アリニ三部以上ヲ置クアリ而メ此一部毎ニ課  
 稅官一員收稅官一名ヲ置ク此ニ稅官其事務ノ



繁簡ニ從ヒ又其部中ヲ數區ニ分テ區毎ニ各一ノ副員ヲ用フ。

監稅部分置之事

合衆國又總國ヲ二十五ニ分テ一ノ監稅部インスチテトシキヲ置キ一部毎ニ監國稅法官一員ヲ置ク其分置ノ法同ク人口ノ多少ニ隨ヒ配算スルヲナレトモ亦事務ノ繁簡ヲモ斟酌スルナリ故ニ一州ニ一部ヲ置クアリ二三州ヲ合シテ一部ト爲スアリ而メ此部中又各一員ノ視察役ヲ置ク  
昨年改正ノ國稅法書ニ據レハ此二十五ノ監

稅部ヲ合シテ十部ト爲シ唯十員ノ監稅法官ヲ置ク又課稅官ヲ廢シテ收稅官ニ收課兩務ヲ兼テシハ是國用ヲ節スル爲ト見ヘタリ但視察ハ舊ニ依テ二十五名ヲ用フ

營業免許稅收納期限之事

氏ヲ製烟製酒賣烟賣酒者等ニ課スルノ營業稅ハ每年五月一日ニ翌年四月三十日迄ノ分ヲ納ムルヲ法トス故ニ免許期限此時日間ヲ一年ト定メ其終リノ日ニ至レハ期限尽ルヲトシ新ニ免許ヲ願出ヘシトス尤右時日ノ中間ニ新ニ開



業セント欲スル者ハ其日ヨリ四月三十日マテ  
ノ日割ニシテ免許税ヲ納ムルナリ

造精酒家保税庫之事

茲ニイフ造精酒家トハ專ラウイスキトイヘル  
強烈ノ酒ヲ製スルノ家ヲ指ス凡ソ此酒ノ性タ  
ル極ニ強烈中ニ多量ノ麻醉分ヲ含ム故ニ之ヲ  
飲ム者精神忽チ狂乱シ人事不省ノ所行ヲ爲ル  
塵ヲ破リ家ヲ亡セ法ヲ犯シ人ヲ殺ス等往々之  
アリ是ヲ以テ合衆政府苛ク之ヲ造ル者ニ税  
ヲ務テ其製造ノ高ヲ減セントスバレハ其税ヲ

收ムルノ法方モ亦極ニ嚴之ヲ造ル者ノ家ニハ  
必ス側ニ保税庫ヲ建シシメ日ニ餉製スル酒ヲ  
其中ニ貯ヘ以テ脱税ヲ防ク余一日監國稅法官  
タツチエレ氏ト共ニ紐育ノ隣府グロウリレノ大  
造酒家ニ到リ見ルニ一人ノ量酒役ト一人ノ  
守庫役ト出會セリ酒ヲ製スル所ノ戸毎ニ堅固  
ノ鎖鑰アリ守庫役逐一其鑰ヲ預リ人ヲメ狼リ  
ニ其中ニ入ラシメヌ扱酒造ノ場ハ三層ニ作リ  
上層ニ大麥蜀黍等ノ粉末及麹蘖等ノ酒ニ造ル  
ベキ料ヲ置キ中層下層ニハ大桶數十箇ヲ列シ



其中ニ亜鉛ニテ製セル蛇管、曲盤、屈シ管中ニ蒸氣ヲ通シテ酒ヲ醸造スルナリ。此桶中ニテ醸成セル酒ヲ「ビール」トイフ。尋常麦酒ト異リ、只其形ヲ以テ名ク是ヨリ又此半製ノ酒ヲ蒸餾氣ニ入レテ蒸餾シ、彼「カイヤキ」ヲ製スルナリ。又右上層ニアル造酒料、床上方形ノ大箱底ナキ者ヲ置キ、上面ニ大抵三尺方面ノ孔ヲ穿テ、是ヨリ之ヲ下兩層ノ大桶中ニ投入スルナリ。此大箱ノ上孔ニモ逐一監固ノ鎖ヲ下シ置キ、其端ハ守庫役之ヲ預ル。扱酒ヲ製スルニ方リ守庫役其時用ナル所ノ酒料ソ

九  
癸  
省

分量ヲ造酒人ヲシテ測ラシメ、然後鎖ヲ開キテ之ヲ下層ニ投入セシム。此時守庫役ハ其造酒料ノ高ヲ其手帳ニ記載ス。斯クテ蒸餾場ニ到レハ蒸餾器ニ裝置アリ造酒人時々之ヲ開キテ酒ノ輕重ノ度ヲ試ニ供ス。其之ヲ開クノ處ニモ亦鎖アリ。其鑰ハ守庫役又之ヲ預リ造酒者酒度ヲ試ニシトスル毎ニ守庫役ニ「カ」ヲ之ヲ開カシメ、初テ之ヲ試ムルヲ得。又此場ヨリハ直ニ蛇管ヲ保稅庫中ニ通シ酒成ル毎ニ庫中ノ貯器ニ流入セシム。之ヲ樽ニ注入スルニ方クテハ量酒役測

六  
癸  
省



水器ヲ以テ其酒ノ輕重濃淡ヲ測リ且其樽ノ寸  
尺ヲ測リテ注入終ル後印紙ヲ其樽ニ貼ス先モ  
直ニ庫ヲ出サ、ルモノハ印紙ヲ貼スルヲ要セ  
ス又此時量酒役ハ其測ル所ノ酒度及ヒ樽ノ大  
小番號等ヲモ逐一手帳ニ記載シ之ヲ收稅官ノ  
許ニ致スナリ又守庫役ハ右庫口ノ鎖鑰ヲ預リ  
造酒人右貯器ヨリ酒ヲ樽ニ移ザントスルトキ  
カ或ハ酒口庫ヨリ出サントスルトキ其鎖ヲ開  
ク而シテ此鎖ハ製造極ニ煩密其前面鑰ノ觸  
所ニハ薄キ硝子板ヲ嵌入シ之ヲ開ク毎ニ必ス

破ル、様ニ作ル故ニ他人之ヲ開クヲ得ス且其  
板ノ後部ニハ雲形ノ馬真ヲ入レ置キ日々之ヲ  
開ク毎ニ守庫役ヨリ何番收稅部何區ニ住セル  
造酒家何某ノ何號ノ庫ヲ何號ノ鍵ヲ以テ開キ  
タルトイフヲ書記シ右寫真ヲ其紙端ニ貼シ  
大藏ノ國稅寮ニ達スルトイフ之ヲ以テ其方法  
ノ嚴酷ナル推テ知ルヘシ又右保稅庫ノ鎖鑰モ  
政府ヨリ之ヲ守庫役ニ給スルナリ凡ソ此庫中  
ニ入ル、所、酒ハ其家ニテ製セルモノ他ヨリ  
來ル者ニ關セヌ大抵十五日ニシテ出庫ノ手續



ヲ為サシメ其稅ヲ拂ハシムルヲ法トストイヘ  
リ稅ヲ拂ハシムルトハ即樽ニ  
印紙ヲ貼セシムルヲ云フ

製烟家保稅庫之事

凡ソ製造烟草ハ其製造所ニテ直ニ印紙ヲ貼シ  
テ外ニ出ストキハ之ヲ保稅庫中ニ入ル、ヲ要  
セズ唯直外國ニ輸出スル者ハ烟草検査役立合  
テ其箱數或ハ量目等ヲ檢シ每箱廿五占土、印  
紙ヲ貼セシムル直ニ輸出セサル者或ハ國內賣  
捌ノ為作リタル者トモニ政府ノ保稅庫或ハ私  
有ノ保稅庫中ニ検査役立合ニテ之ヲ入レ置ク

シム祖國內ニ賣捌クモノニテモ直ニ印紙ヲ貼  
スルモノハ検査役之ニ關セズ故ニ南部ノ地ノ  
如キ製烟家多キ所ニテハ其近隣ニテ製造家ノ  
手ヨリ直ニ賣捌クモノニハ脫稅多シトイフ又  
私有保稅庫ハ製烟家自ラ有スル能ハス且此庫  
ヲ有スル者ハ烟草賣買ノ事ニ關スルヲ禁セラ  
ル此事ノミ稍酷ニ似タレトモ他ハ前ノ造酒家  
ニ比スレハ一切ノ稅法大ニ寛ナリ  
南部「ウチ」州ニテハ烟葉ヲ種ル者ニ稅ヲ  
課スルノミナラス其未タ稅ヲ納メサル者ハ



之ヲ州政府或ハ私有ノ保稅庫ニ入レシム其  
 手續種烟者烟葉ヲ一苞百二十升ヨリ百六十  
 升許ニ作リ此分量ヲ「ボグマニ」ト云フ之ヲ保稅庫中ニ  
 入レ此時州政府ヨリ命スル所ノ烟草檢査役  
 之ヲ檢ス其手数料苞數ニ拘ラス一回ニ一元  
 五十占土種烟者ヨリ之ヲ拂フイトマ此時其  
 保稅庫ヨリ庫入目録ニ荷主ノ名其荷ノ目方  
 番號烟草ノ名庫ノ番号等ヲ尽ク記シテ之ヲ  
 其荷主ニ遺ス若シ買人來ルトキハ荷主立合  
 ニテ檢査役右苞ノ中ヨリ見本ヲ引出シ之ヲ

示レ買人ノ引取ルトキハ荷主ヨリ前ノ庫  
 入目録ヲ檢査役ニ遺スナリ

造酒家 淨酒家 釀造家 造燒酒家 造酒精家  
 區別之事

造酒家トハ葡萄酒三鞭酒シエリ等ヲ製スル者  
 ヲイフ凡ソ右等ノ酒純粹ノ者ヲ造リ賣ルニ國  
 産ノ名ヲ以テスル者ハ更ニ稅ヲ課セズ然レト  
 モ外國産ヲ贗造シ其價ヲ卑クシテ舶來ト唱ハ  
 賣ル者ハ稅アツ且重シ而シテ贗品多クハ淨酒  
 家ニテ製ストイフ



按ルニ純粋國産ノ品ヲ製スル者ニ稅ヲ課セ  
 サルモ、ノハ一ハ國內ノ工作ヲ獎勵スルニ在  
 リ一ハ舶來ト唱フル廢品ハ多クハ經久腐敗  
 ノ酒ニ燒酒等ヲ混シ人ニ害フルヲ以テ務テ  
 之ヲ製スルヲ防クニ在ルナリ  
 淨酒家トハ粗製ノ「ウイスキー」ヲ買受テ之ヲ  
 淨製シ或ハ諸種ノ酒ヲ調合シテ葡萄酒三鞭酒  
 「シエリ」等ヲ製スル者ヲイフ其營業稅一歲ニ百  
 五十樽以上二百樽マテノ淨製「ウイスキー」ヲ製  
 出スル者ハ二百元ヲ課シ是ヨリ以上百樽ヲ加

造ナル毎ニ一樽五十百上ノ印紙ヲ拂ハシムル  
 二百樽以下ハ廿五占上ノ印紙ヲ貼スヘトス  
 其一樽ノ容量ハ五「カ」ルカルルニハ我大約  
 ヨリ百「カ」ルルニハ同シ印紙ヲ用テ此家ニ  
 ハ保稅庫ナシ又他人ノ有セル保稅庫ニ入ル  
 ヲ要セス但造製酒家ヨリ粗精酒ヲ買入レ之ヲ  
 樽ヨリ出ストキ開樽報タムヒンクトテ樽ノ嘴  
 ヲ開クイヲ收稅官ノ許ニ乞出レハ收稅官其免  
 許ヲ與フルナリ  
 釀造家トハ「ビール」「エール」ホルト三酒共ニ麥酒ナリ



等ノ酒ヲ釀造スル者ヨイテ其營業稅一歲五百樽以下ヲ製スル者ニハ五十元ヲ課ス又其家ヨリ他人ニ賣渡ストキハ一樽ニ付大小ニ拘ラス一元ノ印紙ヲ貼スヘシトス尤樽ノ小ナルモノハ其容量ニ應シテ一元ヨリ輕キ印紙ヲ貼スルコトアリ凡ソ麦酒ハ保稅庫中ニ入ルヲ要セス唯印紙ヲ要スルトキ收稅官ノ許ニ到リ之ヲ買入ルコトナリ又毎月課收官ノ許ニ其賣上高及酒料ノ買入高等ヲ記セル簿冊ヲ携出テ之ヲ示スノ

三

<sup>ブ</sup>ラ<sup>ン</sup>チ<sup>ネ</sup>イ<sup>チ</sup>造<sup>シ</sup>酒<sup>チ</sup>家<sup>チ</sup>ハ<sup>ウ</sup>イ<sup>ス</sup>キ<sup>ト</sup>ヲ製<sup>マ</sup>ル<sup>家</sup>ニテ<sup>シ</sup>之<sup>ヲ</sup>魚<sup>ノ</sup>ル<sup>ア</sup>リ<sup>然</sup>レ<sup>モ</sup>ノ<sup>ハ</sup>其<sup>營</sup>業<sup>稅</sup>ヲ納<sup>メ</sup>印<sup>紙</sup>ヲ樽<sup>毎</sup>ニ貼<sup>セ</sup>サル<sup>ヲ</sup>得<sup>サ</sup>レ<sup>ト</sup>モ專<sup>ラ</sup>ニ<sup>葡</sup>萄<sup>平</sup>菓<sup>梨</sup>子<sup>等</sup>ヨリ燒<sup>酒</sup>ヲ造<sup>ル</sup>者<sup>ハ</sup>營<sup>業</sup>稅<sup>ヲ</sup>シ<sup>テ</sup>唯<sup>其</sup>燒<sup>酒</sup>一<sup>カ</sup>ル<sup>ロ</sup>ン<sup>ニ</sup>付<sup>五</sup>十<sup>占</sup>上<sup>ノ</sup>印<sup>紙</sup>ヲ貼<sup>ス</sup>ヘ<sup>キ</sup>ノ<sup>ミ</sup>又保<sup>稅</sup>庫<sup>ニ</sup>入<sup>ル</sup>ヲ要<sup>セ</sup>ス<sup>造</sup>酒<sup>精</sup>家<sup>ト</sup>ハ專<sup>ラ</sup>小<sup>麦</sup>蜀<sup>黍</sup>其<sup>他</sup>一<sup>切</sup>ノ泡<sup>釀</sup>物<sup>ヲ</sup>蒸<sup>餾</sup>シ<sup>テ</sup>造<sup>レ</sup>ル<sup>酒</sup>即<sup>チ</sup>ウ<sup>イ</sup>ス<sup>キ</sup>ト<sup>ノ</sup>類<sup>ヲ</sup>製<sup>セ</sup>ル<sup>者</sup>ヨイテ其<sup>營</sup>業<sup>稅</sup>一<sup>歲</sup>間<sup>ニ</sup>四十<sup>カ</sup>ル<sup>ロ</sup>ン<sup>ヲ</sup>容<sup>ル</sup>樽<sup>百</sup>箇<sup>ヲ</sup>製<sup>出</sup>ス<sup>ル</sup>者<sup>ニ</sup>ハ四百<sup>元</sup>ヲ課<sup>ス</sup>百



管ヨリ以上ヲ製出スル者ハ一樽ニ付増税四元  
ヲ収ム又其酒精ノ印紙ハ一ガロロニ付五十  
占土トス凡此製造家ニ課スルノ税ハ重リ且嚴  
前文保税庫ノ條ヲ見テ知ルヘシ

酒精類區別之事

凡ソ酒ノ蒸餾シテ其純粹強烈ノ精氣ヲ取レル  
者之ヲ酒精ト云フ而メ酒精ニ又三類ノ別アリ  
一ヲ純精酒ト云フ一高ノ水カヲモ混セズ純粹  
ノ亞爾箇兒ナリニヲ燒酒ト云フ燒酒又二種アリ  
一ハ穀類ヨリ製シ一ハ葡萄梨子平葉等ヨリ  
製ス三ヲウイスキリト云フ專ニ穀類ヨリ製ス  
又之ヨリ燒酒ヲ製ス即第一種ノ燒酒ナリ而メ  
此ウイスキリハ蒸餾酒家ニテ專ニ製スル所ニ  
シテ其税最重ク又之ヲ作ル營業税モ最重シト



是米國ノ人民平常享ラ用フル所ニシテ他酒  
精類ニ比スレハ尋常ノ者ハ亞爾古兒ヲ含ム  
多クラスト雖モ其中他ノ麻酔分ヲ含ムト多ク  
隨テ人ヲ害スルヲ極テ甚シケレハナリ因テ之  
ヨリ製スル燒酒類モ其稅葉實ヨリ製スル者ニ  
比スレハ重シトス蓋シ米國ノ俗古ノ如ク分別  
ヲ立ルト雖其實ハ皆蒸餾シテ精氣ヲ取ル者ナ  
レハ概シテ之ヲ製造スル家ヲ名ケテ酒製家ト  
云フ稅法ノ書ヲ讀ムニ於テ其分別ニ惑ハシ  
ヲ恐レ此ニ其大略ヲ掲ク

酒精準量斗之事

凡ソ酒精燒酒ノ類ヲ量ルノ斗政府ヨリ之ヲ定  
ム其之ヲ定ムルノ法先亞爾古兒ノ華氏驗温器  
六十度ノ温度ニ方リ蒸餾水ニ比シテ其異重十  
万ノ七千九百三十九分アルモノ半分ト水半分  
ヲ混シテ之ヲ試驗量酒精ト定メ此混合物一ガ  
ルロシ我一斗六合許ナレトモ純粋ノモノハ麦  
ヲ以テ定メテ一斗ヲ容ル程ノ斗ヲ準量斗ト爲  
テ合計ト做レカクシテ容ル程ノ斗ヲ準量斗ト爲  
シ此斗ニテ一切酒精類ヲ量リ又更ニ測水器ヲ  
以テ其中ニ含有スル亞爾古兒分驗ニ其之ヲ含



有スル多小ニ從ヒ其強弱ヲ定メ強キ者ハ稅ヲ  
増シ弱キ者ハ稅ヲ減スルナリ尤其強弱ヲ量ル  
ハ必スシモ右斗ニ入ル、ヲ要セス他器中ニ入  
レ之ヲ量リ定ムルナリ然レトモ酒精ノ賣買ニ  
ハ一々右斗ヲ用ヒサルヲ得ストス叔右試驗量  
酒精ヲ量ルリ爲ニ用フル器具測水器驗糖分器  
精微ナル權衡端ニテ製分蓋精確ナル尺大其  
他純穉ノ亞爾宜見試驗量酒精等マテ尽ク大藏  
ノ租稅寮中酒精課 許ニ具ヘ時々之ヲ各部収  
稅官ニ給スト云フ而シ凡ソ尋常酒精燒酒ト名

クル者皆試驗量酒精一同シキモノトス 稅法書  
中準量ヲ以テ量ル或ハ試驗量酒精等ノ語アリ  
尽ク上行ニ說ク所ヲ以テ解スヘシ

製烟職人届之事

凡ソ烟草ヲ製スル絲烟 葉烟 咬烟 等職人ハ其業  
ヲ始ムルノ前必ス課稅官ノ許ニ至リ詳ニ其姓  
名居處及其已ヲ使用スル製烟家ノ名處等ヲモ  
記載スルヲ添トス七此職人ハ稅ヲ納ムルヲ要  
セス其之ヲ記スル者ハ製烟家ニテ人ヲ用フル  
ノ多寡ニヨリ其製出スル所ノ高ヲ知ルカ爲ナ



リ故ニ法ノ如ク届ニ出テサレ職人ヲ用フル製  
烟家アレハ其人一人チ一日間用フルニ付ニ五  
元ノ罰金ヲ追徴ス

按ルニ酒精類ヲ製造スル家ニ用フル職人等  
ハ更ニ届ヲ為スヲ要セズ是蓋シ酒ヲ製出ス  
ルノ量ハ其器ノ能クニアリテ人カニ依ラサ  
ルヲ以テチルヘシ而シテ酒精ヲ製スル者驚ク  
者製烟者賣烟者等其業ヲ開クノ前皆課税官  
ノ許ニ到リ其度ノ届ケ其中酒精家等ハ租税  
寮ニ願出テ且其器具出酒ノ度等課税官詳ニ

之ヲ檢測スル上チテハ開業免許ヲ受ルヲ  
得ス此等ノ賣手ノ開見スル所未々其委曲ヲ  
尽スニ足ラス後日國稅法書ニ就テ之ヲ詳ニ  
スヘシ

國稅法書中用語畧解

○直稅

ダイレクト

凡ソ徑濟書中ニ通シテ直稅ト目スル者ハ間  
稅ニ對スルノ名ニシテ  
イネラエブル、ムラエブル、  
プロパチ、  
スル物ニ課スル稅年得稅分頭稅等ヲ總稱  
スルナリ然ルニ合衆國國稅法書中ニ掲クル



者ハ是ト異リ彼紀元一千八百六十一年兩院  
 國債ノ利子ヲ償却センカ爲ニ  
 其各州ヲシテ各其土地ノ廣狹人口ノ多寡ニ  
 比較シテ若干ノ稅ヲ課收シ此ヲ大政府ニ貢  
 セシム之ヲ名テ直稅ト云フ此時政府ニ要  
 スル所ノ金額二千万元ナリ其中北部諸州ニ  
 課當セシモノハ逐次ニ貢納終リタルカ南部  
 ノ十一州ハ之ニ先ツテ已ニ背叛ノ企アリシ  
 カハ命ヲ聽テ之ヲ納レル者寡シ斯クテ遠カ  
 ラズ兩部分争ノ事起リ内乱頻ニ打続キ民疲

弊ヲ極メタレハ事至クノ後今日ニ至ルマテ  
 南部諸州ヨリ亦進ノ高尚五百万元ニ及フ故  
 ニ國稅寮中今ニ於テ其事ニ預ルノ課ヲ存シ  
 別ニ官員ヲ派出シテ之ヲ督促スト云フ

○造酒益能力稅

原語「カバシチ」トハ即能力ノ言ニシテ之ヲ  
 人ニ取レハ書ヲ能シ文ヲ巧ニスル等即其能  
 カナリ今茲ニ造酒益ノ能力ト云フモノハ其  
 益ノ一日二十四時間ニ酒精ノ上清ヲ釀製シ  
 能フ力ヲ指ス凡ソ合衆國ニ於テハ諸酒精家



新ニ其業ヲ関カントマルトキ課税官行キテ  
 其醸造器具ノ能力ヲ測定シ而シテ此能力ニ稅  
 ヲ課ス是營業稅印紙稅ノ外ナリ扱此稅ノ割  
 合ハ一日二十四時間二十「ガ」シエ「ル」ハ「我」ニ「斗」  
 許ノ玉蜀黍ヲ醸製シテ「ビ」ト「為」シ「能」フ「所」  
 ノ益或ハ同時間六十「ガ」ル「ロ」シ「ノ」モ「ラ」セ「ル」糖  
 ヲ泡醸ヲ醸造シ「能」フ「所」ノ器ニハ一日ニ付二  
 セル者元ヲ課シ是ヲ基本トシテ日ニ二十「ガ」シエ  
 ノ玉蜀黍ヲ醸製シ或ハ六十「ガ」ル「ロ」シ「ノ」モ「ラ」  
 ヲセ「ル」ヲ泡醸シ「能」フ「程」ノ益ヲ有スル毎ニ二

元ノ稅ヲ増課ス是即能力稅ナリ

○不足作稅

氏ノ酒精ヲ作ル者前ニ載スルカ如ク課税官  
 ノ改ヲ受テ其器ノ能力ヲ定メ能力稅ヲ納メ  
 其一歳間製造ノ高ヲ以テ其營業稅ヲ納ムル  
 ナリ然ルニ時トシテハ此株稅印紙稅等ヲ減  
 納セシカ為ニ其月々ノ書上ニ用フル所ノ玉  
 蜀黍類ノ高ヨリ酒精ノ作高ヲ減シテ記スモ  
 ノアリ此時ニ方ニテ課税官若シ其酒精書上  
 ノ高共ニ用ヒシ所ノ穀物ヲ量及其益ノ能力等



ニ此ニテハ割以上少キトキハ其陰造セシ酒  
精一準量ガルコト毎ニ五十占土ノ罰税ヲ課  
ス

○過作税

エタツククスイ  
エキセツク

又前條ニ反シテ同ク詐偽ニ出レトモ其器ノ  
能力ニ過キテ多量ヲ作り出セルモノアリ其  
量ハ割以上ニ至レハ其罰下シテ税ヲ課スレ  
テ前ノ如シ

扱右過不足作ノ偽ヲ查定スルニ法アリ大  
抵ヒールル見上四十五ガレロト醸製スルニハ

一、ア、シ、エ、ル、ノ、穀、類、ヲ、用、ヒ、又、モ、ラ、ス、セ、シ、ヨ、リ、製  
ス、ル、セ、ル、レ、七、ガ、ル、レ、シ、ニ、ハ、一、ガ、ル、ロ、ン、ノ、モ、ラ  
ス、セ、ス、ヲ、用、フ、ル、ト、ス、而、ノ、一、日、二、十、四、時、間  
ニ、百、ガ、ル、ロ、ン、ニ、及、ラ、ザ、ル、レ、ト、醸、製、ス、ル、蒸  
具、ヲ、用、フ、ル、家、ニ、シ、テ、且、穀、類、ヲ、搗、磨、ス、ル、ニ、蒸  
氣、ノ、カ、ヲ、假、ラ、ス、シ、テ、人、手、ヲ、用、フ、レ、モ、ノ、ニ、ア  
リ、テ、ハ、是、ヨ、リ、醸、製、セ、ル、六、十、ガ、ル、ロ、ン、ノ、ビ、ー、レ  
ニ、ハ、穀、類、一、ア、シ、エ、ル、以、上、ヲ、用、フ、レ、ト、ス、課  
税、官、之、ヲ、以、テ、準、率、ト、シ、其、過、不、足、ヲ、知、ル、ナ、リ

○減税

エ、バ、イ、ト、メ、ン、ト、又  
エ、シ、エ、ン、ト、又



減税ニ数様アリ凡ノ課税副員納税者今專ラ  
精酒烟  
 草率ヲ製造マヨリ毎月其賣上高ヲ記シ出セ  
 ル簿冊ニ引合セ何程ノ税ヲ課マヘキト云フ  
 一ヲ定メ其積書ヲ為シ課税官ノ許ニ渡シ本  
 官納税者ヲ召出シ其積書ヲ見テ相違ナク税  
 高ヲ納ムヘシト誓テ之ニ證印セシムルトキ  
 若シ其課賦ノ高京相當ニ多シト考フルトキ  
 ハ納税者此積書ニ印セシテ減税ノ事ヲ乞  
 フヲ得此時課税官之ヲ相當ト思フトキハ再  
 ヒ勘算シテ之ヲ減ス之ヲ減税ト云フ又納税

者已ニ右ノ積書ニ印シ収税官ノ手ニ渡リタ  
 タル後此減税ノ事ヲ乞出テ課税官共ニ之  
 ヲ相當ト思フトキハ又之ヲ減スルヲ許スナ  
 リ尤此願ハ十日ノ中ニ為サレハカラス且  
 此時課税官ヨリ減税免許ノ状ヲ納税者ニ與  
 ヘテ證トス又課税副官全ク税ヲ課マヘカラ  
 サル分ノ金高ニ誤テ課マルカ納税者其賣上  
 高ヲ誤テ多ク書上クルニヨリ汰外ノ税ヲ課  
 セラルカ或ハ未進ノ罰トシテ過度ノ物ヲ  
 取リテ或ハ過ノ罰金ヲ申付其課税ノ高罰



金ノ高率課収税官ヨリ書上ニナリ巳ニ大藏  
租税寮ノ收税簿冊ノ上ニ登リタル後納税者  
之ヲ減セシメテ其趣ヲ課税副官ノ  
許ニ申出テ此官之ヲ相當ト思フトキハ法ノ  
如ク紙面ニ記載セシメ自ラ調印レ課税本官  
ニ送リ本官及收税官共ニ其願旨諒ナラサル  
ノ證書ヲ作り納税者國税頭ノ許ニ其書ヲ持  
シテ願フ趣ヲ申出レハ國税頭之ヲ國税法審  
司ニ詢リ願理ニ登レハ其税金罰金等ノ中ヲ  
減免スルヲアリ之ヲ名ケテ又減税ト云フ時

租税寮ニテハ此減シタル高率簿冊ノ中且右  
ヨリ刪ラヌシテ之ヲ出金ノ部ニ記載ス  
減税ノ事ヲ十日ノ間ニ收課税官ニ願出テヌ  
且國税頭其願ヲ聽サハルトキハ其税ヲ納ム  
ヘキ日ヨリ割合セテ一月ニ付税金ニ一分  
ノ利ヲ添ヘ納ムシム尤願十日間ニ出テ課税  
税官ノ怠慢ニ係ル者ハ此例ニ非ヌ又課税  
官ヨリ積書ヲ租税寮ニ納メ巳ニ其簿冊ニ登  
リタル後納税者俄ニ死シ其妻子貧苦ニ迫ル  
者或ハ納税者税ヲ納ムルニ先ツテ其所有物  
ヲ賣却ヒ脱走シ行方ヲ知ラサル等ノ事アリ



テ其稅ヲ收ムルト克ハサルトキハ收稅官其  
由ヲ國稅寮ニ申述シ其稅ヲ免スルコトアリ是  
又減稅ト云フ按スルニ免稅ト訊スルヲ當レ  
トス然レトモ原語同一ナレ  
ハ今又減稅ト云フハ今又減稅ト云フ尤此時收稅官督促ノ怠リニ出ルト  
キハ收稅官之ヲ償ハサルヲ得ス

○還稅

凡ソ前條ノ如ク收納稅者等ノ誤ニヨリテ已  
ニ汰外ノ稅過分ノ罰金等ヲ大藏ニ納メタル  
後納稅者其免減ヲ國稅頭ニ乞出テ國稅頭其  
情願理ニ當レリト考アルトキハ之ヲ大藏卿

ニ申立テ卿第五正算役ニ命シ入稅簿ヲ正算  
セシメ檢査頭ノ允可ヲ經テ願入ニ其金高ヲ  
返還ス之ヲ還稅ト云フ此金ハ收稅官ノ公  
金支拂役ヨリ返替ニ  
ナリ但其金高二百五十元以下ノ例ニアリテ  
ハ卿ノ許可ヲ乞ハス國稅頭直ニ正算役ニ之  
ヲ正算セシメ檢査ノ手ヲ經テ之ヲ還ス又造  
酒精家ノ製造場火災ニ罹リ或ハ不慮ノ厄災  
ニヨリテ其保稅庫中ニ在ル酒樽等及製造器  
械等燒失シ製造ヲ休ムル間ト其日マテ拂フ  
所ノ味稅賣高稅ノ外後日ノ分ハ日割ニシテ



之ヲ還ス之ヲモ還稅トイフ。尤其家火災請令  
ニ入ル者ハ其請令金ノ高トヨ除キテ還稅ス  
ルナリ又或ハ前ニ載スルカ如ク收納稅者ノ  
誤ニ出ルカ故意ニ出テ過分ノ稅過料等ヲ申  
付其金高ヲ納ムル後納稅者地方ノ審聽ニ訟  
ヘ之ヲ還ス<sub>テ</sub>願出其廳ニテ之ヲ裁判シ願  
理アリトスルトキハ大藏ニ申出テ還稅セシ  
ムレ<sub>ト</sub>アリ尤此願ハ出金ノ後六ヶ月ノ間ニ  
為ス<sub>レ</sub>トス六ヶ月ヲ超レハ問治ヲ許サス  
右一切ノ還稅亦之ヲ減稅ト云フ蓋シ減稅ハ

一般ニ稅金ヲ減スルノ總稱還稅ハ一旦大藏  
ニ入リ所ノ庫金ヲ出シ還スノ名トス

○出港還稅 ドロカバツキ

凡ソ合衆國ニ於テ國稅ヲ課スヘキ物ヲ外國  
ニ輸出スルトキハ其國稅ヲ免ス然レトモ其  
脫稅ヲ防クカ爲ニ輸出ノ前其已ニ國稅ヲ納  
メタルモノモ尚輸出保稅庫中ニ入レ置カレ  
メ愈何港ヨリ何國何港ヲテ輸出シ再ヒ合衆  
國ニ還輸セサル<sub>テ</sub>證シ然後曩ニ納ムル所  
ノ國稅ノ高ヲ納稅者ニ還ス之ヲ出港還稅ト



云フ是カ爲ニ前ニ載スルカ。如ク此事ヲ監ス  
 此官吏アリ又海關中ニモ別ニ出港還稅局ト  
 名クル局アリ輸出ヲ爲セル者ヨリ還稅ノ事  
 ヲ乞出レハ此局ニテ之ヲ取次キ願者ニハ收  
 國稅官ヨリ其乞フ所ノ高ヲ還スナリ  
 凡ソ出港還稅ハ其物ニヨリテ何程ノ高ヨリ  
 納稅者ニ之ヲ還スト云フ迄メアリ即速火奴  
 シオックステイパレノ懷中蠟燭ノ如キハ一回ニ國  
 稅十元以上ニ登ラサレハ還稅ヲ許サス酒精  
 類ハ酒精家ニテ始メテ始メタル元樽ニシテ一

樽酒量二十「ガ」レロ  
レニ準量ガレロントハ具リ  
 葡萄酒ヲ量ルニ用ル  
 ヲリ還稅ヲ許ス烟草類ハ其印稅高五十元ニ  
 登ラサレハ還稅ヲ許サス  
 右何レモ其印紙稅ヲ已ニ納メ了リタルヲ  
 誓ヲ立テ帳ニ證シ且其貼スル所ノ印紙ハ稅  
 官立合ノ上之ヲ抹消スヘシトス其檢査ノ法  
 方極メテ嚴ナリ中ニ就テ酒精類ハ其輸出ノ  
 港ニアル收港稅官ニ輸出ノ事ヲ乞出テ此時  
 三枚ノ輸出目錄ヲ作り其中ニ其酒ノ製造人



任處姓名ハ勿論其酒ノ準量酒量其載スレ  
ルノ船名送ル所ノ港名等ヲ逐一記載シ其一  
ハ之ヲ收港稅官ニ致ス又船主ヨリハ積荷目  
録ヲ作り同ク之ヲ收港稅官ニ致ス此目錄又  
式アリ而シテ積送ノ後本官輸出目錄一枚ハ積  
荷目錄ト共ニ其局ニ綴込置キ輸出目錄一枚  
ハ之ヲ大藏卿ノ許ニ致ス又右ノ手續ヲ經  
テ船積ヲ爲ストキハ別ニ收港稅官ヨリ港稅  
關量酒役ニ命シ其樽毎ニ外部ヨリ容量ヲ測  
ラシメ逐一其酒ノ銘ヲ記サシメ且夫合衆國

ヨリ輸出スト記サシメ斯クテ收港稅官ヨリ  
港ノ測量方ニ申通シ測量方別ニ檢査役ヲ命  
シ船積ノ事ヲ檢査セシメ然後初メ本港ヨリ  
輸出スルヲ得ルナリ若シ右ノ手ヲ經サレ  
ハ港ヲ出シ且巳ニ納メタル印稅ノ高ヲ取戻  
スヲ得ス其他烟草等モ還稅ヲ要スルトキハ  
手續甚煩密ナレトモ酒類ノ加クナラス尤何  
レモ慥ニ何々ノ港マテ積送リタルト云フカ  
或ハ海上難風火災等ノ爲ニ失ヒタルト云フ  
マテテ委ク證セサルヘカラストス尚右ノ



外實地取扱ノ事ハ後日國稅法書ヲ譯スルト  
キ之ヲ詳ニスヘシ

收課稅官實地事務取扱

凡營業免許稅等ノ如キ一歲中定マリタル月日  
ニ納ムルモノ、外ハ納稅者月末毎ニ納ムルナ  
リ其法毎月十日マテニ納稅者 烟草酒精類ヲ賣ル者 其前月  
中賣上ノ金高ヲ第六號ノ空白樣紙ニ記載シ副  
官ノ役所ニ持出テ誓ヲ立テ其書出ス所ノ高些  
ノ誤算ナキヲ證ス是ニ於テ副官ハ此書上ヲ  
準トシ賣上高ニ照算シテ其稅ヲ定メ其人名家

業住所及ヒ課スル所ノ稅高ヲ記シ且テ如ク役  
所ニ貯フル所ノ簿冊ニ登記シ然後其課稅書ヲ  
課稅官ノ許ニ致ス是ハ納稅者ヨリ賣上高書付  
ヲ出ス日ヨリ五日ノ間ノ事ナレハ毎月十五日  
ノ事トス

課稅官ハ右ノ如ク配下ノ諸副官ヨリ出ス所ノ  
課稅書ヲ點檢シ其當不當ヲ質シ相當ナルトキ  
ハ其課スヘキ高ト何業何氏ニ課スルトイフ  
ヲ明細ニ二十三号ト九十七号ノ餘白紙ニ記シ  
九十七号ハ之ヲ有シ二十三号ニハ別ニ二十三



半號ノ餘白紙四枚ニ課税ノ物高ノ三ヲ記シタ  
タル者ヲ添テ之ヲ收税官ノ許ニ致シ二十三半  
号ノ四枚ニ其調印ヲ得テ一ハ自ラ之ヲ有シ一  
ハ大藏卿一ハ検査頭一ハ國税頭ノ許ニ致スナ  
リ諸課税官ノ此二様ノ書付ヨ收税官ノ許ニ致  
スハ其副官ヨリ課税書ヲ致スヨリ五日ノ間ノ  
事ニシテ毎月二十日ノ事トス  
斯クテ收税官ハ課税官ヨリ致ス所ノ右五枚ノ  
書付ヲ受取リ先具ニ二十三号ヲ點檢シ其課賦  
ノ當不當ヲ質シ二十三半号ノ總高書ヲ照合シ

誤算ナキトキハ二十三号ハ其如ク役所ノ簿冊  
ニ登記シ了リテ之ヲ貯置キ二十三半号ノ四枚  
ハ自ラ之ニ調印シテ課税官ノ許ニ還シ此簿冊  
ヨリ一人毎ニ收ムヘキ税高ヲ記セル九号ノ書  
付ヲ作り急便ヲ以テ一家毎ニ配達シ其日ヨリ  
十日ノ間ニ税高ヲ納ムヘキヲ申遣ヌナリ  
是ニ於テ納税者ハ其金高ヲ所持シ收税官ノ役  
所ニ到リ別ニ每人ヲ分チ記セル税額明細書ニ  
照シ見テ之ヲ納ムルナリ尚減税還税ノ條  
右ハ尋常ノ手續キナリ若シ此課税書ヲ配達セ



ルヨリ十日ノ後税ヲ納メサル者アレハ收税官  
再ヒ其家ニ九十一号ノ書付ヲ以テ原税ニ五分  
ノ増税ヲ添ヘテ十日ノ間ニ納ムヘキヲ申遺  
シ尚十日ヲ経テ納メサル者アリハ再ヒ九十一  
号ノ餘白紙ニ原税及増税高ヲ記シ且十日ノ中  
ニ納メサレハ其所有物ヲ抄収スルヲ書加ヘ  
遺スナリ斯クテモ納メサル者アレハ收税副官  
自ラ其家ニ到リ照檢シ所有物ヲ賣リ之ヲ給  
セシム若シ其人收抄シテ償ニ充ツヘキ物ヲ有  
セサルトキハ其月ヨリ五分増税ノ外ニ一月ヲ

延ル毎ニ一分ノ増税ヲ倍課ス  
按スルニ上文實際ノ見聞ニ係ルト雖モ今税  
法書ニ照シテ之ヲ考フルニ遺漏尚ハカラス  
後日税法書ヲ記スル時ニ當リ補フヘシ

監國税法官職掌補遺

平生税官及納税者等ノ舉動ヲ視察スルノ外納  
税者ヨリ納税ノ事ニ付キ訴出ル輕獄ヲ審断ス  
ルナリ毎月一月一日ニ烟葉ヲ賣ル者ヨリ出ス  
所ノ先年中賣買ノ高ヲ記セル簿冊ヲ受ケ配下  
ノ書記等ニ命シ之ヲ檢閲較算セシメ若シ其載



ナル所謬アレハ之ヲ改正セシメ或ハ故ニ税高  
ヲ減セシクウニ賣買ノ数量出入ノ金高ヲ精密  
ニ合算シ出サ、ルモノハ紀問ノ上過代ヲ出サ  
シムルナリ

凡箇烟ヲ製マル家ヨリハ七十三号ノ空白様紙  
ニ其製造高ヲ記シテ毎月一日此官人ノ役所ニ  
持来リ之ヲ示ス此時本官書記ニ命シ姓名住所  
等ヲ分チタル簿冊ノ中ニ寫シ置カシメ斯クテ  
此製烟家ハ右高ヲ記セル書付ヲ持帰リ日々賣  
買ノ高ヲ其上ニ登記スルナリ監國稅法官ハ入

用ノ節ハ何時ニテモ此書付ヲ取寄セ點檢スル  
ノ權アリ又酒精ヲ製スル家ヨリハ前ノ課稅官  
ノ條ニ述ル如毎月十日マテニ賣上高ノ書付ヲ  
課稅官ノ許ニ納ムルヲ以テ監國稅法官ノ許ニ  
ハ別ニ納ムルヲ要セサル

按スルニ右ノ手續ハ實際ニ於テ互ニ申合セ  
為ヌ所ノモノナレハ或ハ添書ニ掲クルモノ  
ト粗語スルヲアルヘシ

國稅法ヲ犯ヤル者ノ處置實地手續ノ事  
凡ソ納稅者課稅副官ノ前ニ賣上高ノ書付ヲ持



出サレカ或ハ其賣上ノ高ヲ減少シテ書出シ尙  
誓ヲ立ツルカ或ハ收税官ヨリ納税ノ高ヲ記セ  
ル書付ヲ配達スル後其税ヲ納メサルカ或ハ營  
業税ヲ納ムヘキモノ始ヨリ營業免許ヲ受ケサ  
ルカ或ハ其期尽クルノ後更メテ之ヲ受ケスシ  
テ其業ヲ営ム等皆慨シテ國稅法ヲ犯ストイフ  
而メ此犯者ヲ罰スルノ法輕重數様逐一記載シ  
難シ今僅ニ見聞スル所ノ一二ノ手續ニ記ス  
凡ソ國稅ヲ納ムヘキ物品ヲ製造賣買シテ其税  
ヲ收メサルカ或ハ賣上高ヲ減シ記シテ脱税ヲ

計ル者アレハ收税官其副官ヲ犯法者、家ニ遣  
シテ先其物品ニ封印シ一坊其家財ヲ外ニ出ス  
ヲ禁ス斯クテ其由ヲ直ニ國稅頭ノ許ニ達シ其  
指揮ヲ得テ其物品ヲ賣却シ本稅過料税其外此  
事ニ就キテノ諸入費ヲ差引餘分ヲ戻スナリ若  
シ副官ヲ遣シ物品ヲ封印スル後五七日間ニ其  
過ヲ悔ヒ懇々哀ヲ乞フトキハ罰金トシテ一倍  
ノ税ヲ收メ其物品ヲ賣ルヲ赦ス右ハ輕犯ノ例  
ニテ本稅増稅罰金等ヲ全シテ三百元ニ至ラサ  
ルモノ、處置ナリ若シ其高三百元以上ニ至ル



ハ或ハ犯人其物品ヲ賣拂フトテ拒ムトキハ收  
税官其由ヲ國税頭ニ達シ同時ニ合衆國地方裁  
判所ノゴムニシヨ<sup>ル</sup>ノ廳ニ至リ誓ヲ立テ、  
其事ヲ訴フレハゴ<sup>ハ</sup>ミツシヨスル捕亡方ニ命シ  
其犯人ヲ捕ヘシムヨリ裁判所ノ吟味ヲ経テ  
所置ヲ付ルナリ尤收課税官監國税官等皆物品  
ヲ封印スル程ノ權ヲ有スルヲ以テ裁判所ニ申  
通スル前ニテモ犯者ノ物品ヲ扣留スルヲ得ル  
ナリ然レトモ前ニ述ル如ク三百元ニ登ルトキ  
ハ收税官獨断ニテ之ヲ區處スルヲ得サルナリ

若シ犯人ヲ捕ヘテ獄ニ繋カレントスルトキ本  
人歎願シテ一時ニ税金罰金等ヲ償フヲ得サル  
ヲ以テ日ヲ期シテ之ヲ納ムン<sup>コト</sup>ヲ命ジレハ入  
牢ヲ宥シ保人ニ其身ヲ任シテ保償證書ヲ立テ  
期限ニ後ル<sup>トキ</sup>ハ其金高ヲ償フヘキ旨ヲ保  
セシメ若シ本人逃遁スレハ保人<sup>ノ</sup>責ニ任ス  
ルナリ  
又視察役犯人ヲ視出セハ監國税法官ニ告ケ兩  
人ニテ裁判所ニ至リ之ヲ訴ル<sup>コト</sup>前ノ手續ノ如  
シ



凡ッ犯人ヲ告ル者ハ其賞トシテ本税増税罰金  
裁判所入用等ヲ引去リ餘分ヲ典フルナリ  
凡ッ犯人所有ノ家屋土地抄没セラレ政府ヨリ  
之ヲ公賣スルトキハ何地何処ニテ公賣スト新  
聞紙ニ著シ之ヲ賣ルナリ尤犯人法ノ如ク本税  
増税諸費用利息等ヲ納メテ之ヲ買戻サント  
願出レハ一年ノ間之ヲ許スナリ或ハ曰ク政  
府ニテ之ヲ賣ルトキ買主ニ一年間ノ賃入ノ形  
ニシテ賣ルナリト此事後ニ法言ニ就テ質スヘ  
シ

印紙税發明ニヨリ大ニ收税ノ勞ヲ省ク  
事

十二年<sup>一千八百六</sup>以前マニハ米國ニ印紙税ノ  
法ナシ故ニ今ノ如ク些末ノ物品ニ税ヲ課スル  
ト克ハス且其税ヲ收ムル毎ニ收税官ヨリ逐一  
受取書ヲ出セシトナレハ其煩勞言フヘカラス  
印紙使用ヨリ以來大ニ其勞ヲ省ストイフ



